

知的財産戦略ビジョンの策定に向けた論点整理（案）【抜粋】

（ 知的財産戦略本部「知的財産戦略ビジョンに関する専門調査会」
第 4 回会合配布資料¹（資料 1 - 1）より関係部分抜粋）

5. 将来の「仕組み」に向けて今後の検討が必要な課題

- 1) 技術・データ・コンテンツ等知的資産の柔軟な交流や共有を促し、価値を拡大する仕組みの構築

次世代コンテンツの創造・活用システムの構築【中・長期】

ブロックチェーン技術等の新しい技術を活用したコンテンツの権利管理・利益配分の仕組みの活用や、AI による自動翻訳技術の実装化を促進し、新たなグローバルコンテンツ配信の仕組みを構築・支援するとともに、正規版の流通を阻害しないため、海賊版対策を抜本的に強化する。

また、一億総クリエイター時代において、「クリエイター・ファースト」に根差した発表・評価の場、また、二次利用・二次創作や異業種・異分野とのコラボレーションを誘発するマッチングの場として、ユーザージェネレートコンテンツ（UGC）市場が成長するよう、健全性を担保するためのアーキテクチャーの導入や紛争処理・利益配分の仕組みを構築する。

- ブロックチェーン活用による知財の権利管理・利益配分システムの構築
- 著作権を中心とするステークホルダー間の権利や二次創作含む利用などに関する仕組みの整備（再掲）
- リーチサイト規制、サイトブロッキング等悪質な海賊版サイトへの多層的かつ実効性ある対抗手段の導入

¹ https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/senryaku_vision/dai4/siryou1-1.pdf